

研究課題名	動脈硬化と小腸血管病変との関連：Angioectasia と Dieulafoy 病変の比較検討
研究期間	2026年4月27日 ～ 2028年3月31日
研究の対象	2005年7月～2025年11月の間に広島大学病院消化器内科においてダブルバルーン内視鏡検査で小腸血管性病変と診断した症例。
研究の目的・方法	<p>研究目的：本研究では、Angioectasia と Dieulafoy 病変の臨床的特徴と動脈硬化指数を比較し、その病態の相違を明らかにすることで、今後の小腸出血に対する診断・治療戦略の最適化につなげることを目的とした。</p> <p>研究の方法：対象症例に関する臨床情報は電子カルテから収集し、年齢、性別、主訴、既往歴、服薬歴、検査時の身体所見、検査前後の診療経過などの情報、ならびに CT や内視鏡所見を参照して、Angioectasia と Dieulafoy 病変の臨床的特徴と動脈硬化指数を比較検討した。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>年齢、性別、主訴、既往歴、服薬歴、検査時の身体所見、検査前後の診療経過などの血液検査などの臨床情報に加え、X線画像（例：腹部単純X線、CT画像）、ダブルバルーン内視鏡、カプセル内視鏡等の検査画像を含む。動脈硬化指数は AW server を使って算出した。また、angioectasia と Dieulafoy 病変はダブルバルーン内視鏡所見から分類した。</p> <p>情報の管理責任者: 消化器内科 大学院生 重信修宇也</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年4月27日（本学における実施許可日）
個人情報の保護	情報は解析する前に、氏名・生年月日等個人を識別できる記述は削除し、代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡志郎</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。</p> <p>なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含ま</p>

れません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5538

Fax : 082-257-2930

広島大学医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎

広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 大学院生 重信

修宇也